

京都 CSR 推進協議会 2014 年度事業報告

(2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日)

基本総括

2014 年度は、限られた財源の中で諸事業を精査しながら継続可能な事業を行うとの基本方針のもとに取り組んだが、その中でも、普及・促進の観点から CSR 創発塾をオープン化するなど、既存事業に工夫を加えながら、より効果的なものとなるよう努めた。

会員への支援事業としては、ウェブサイトやメールニュースによるメンバー会員企業への情報提供を継続して行うとともに、CSR 創発塾も外部講師を招きながら引き続き開催した。幅広く CSR を普及・促進する事業としては、オープンセミナーを他団体との共催も含めて引き続き開催するとともに、上記 CSR 創発塾を普及・促進の観点から原則オープン化して開催した。

また、会員募集期間を下半期に集中し、CSR 取り組みレポートの作成・公開支援も 12 月～3 月に集中して行うなど、限られたリソースのもと事業対応の合理化にも努めた。

1 支援事業

(1) CSR 取り組みレポートの作成・公開支援、ウェブサイトの運用

会員サービス充実の一環として、CSR 京都ウェブサイトを活用するとともに、メールニュース【CSR 京都 Newsletter】の配信などによる情報提供を継続して行った。

なお、CSR 取り組みレポートの作成・公開支援は下半期に集中して行うとの方針のもと、12 月～3 月にメンバー会員に周知して対応した。

(2) 取り組みセミナーの開催

取り組みセミナー「CSR 創発塾」を計 3 回開催し、レクチャーに加えて懇談会の時間を多くとるなど、参加者同士が交流して情報交換や経験交流のできる機会となるよう工夫した。

- 8 月 27 日：「中小企業が目指すべき今後の CSR 戦略とは？」参加人数 7 名〔うち会員外 2 名〕。
- 10 月 21 日：「森林（もり）を元気に、会社を元気に～京都モデルフォレスト運動での CSR～」参加人数 10 名〔うち会員外 2 名〕。
- 3 月 5 日：「地域社会の安全・安心に貢献する『防犯 CSR』の取り組み」、参加人数 7 名〔会員限定〕。

なお、「CSR 創発塾」は従来対象を会員に限っていたが、CSR の普及・促進の観点から 2014 年度より原則的に公開して開催した（3 月 5 日実施分は講師が行政関係者であった事情により会員限定対象）。

2 普及・促進事業

(1) オープンセミナーの開催

幅広く参加を呼びかける中規模のオープンセミナーを 3 回実施し、会員外の企業などからも多くの参加を得た。

- 7 月 29 日：「ブラック企業 閉ざされる若者の未来～ホワイトな企業であるために～」、京都市と共催、参加人数 59 名。
- 9 月 25 日：「CSR の社内浸透のために～欧州の事例に学ぶ～」、参加人数 30 名。
- 11 月 6 日：「過重労働が招く経営危機～慢性残業に潜む過労死等のリスクとその対応策～」京都市弁護士会及び日本 CSR 普及協会近畿支部と共催、参加人数 58 名。

(2) ウェブサイト等の充実

CSR を普及・促進する観点から、ウェブサイトでの情報発信を継続して行った。

(3) リーフレット・パンフレットの作成と活用

具体的事例や写真、参加するメリットなどを含めて訴求力を高めたパンフレット「人も、地球も、そして企業も、得をする。一信頼を築く経営のすすめ」を時機をとらえて活用した。

3 組織の運営

(1) 会員募集集中期間の設定と諸手続き等の会員サービスの集中化

11月～12月をメンバー会員募集集中期間とし、それに向けて「CSR 京都 取り組み報告会」を4回開催した（11/11、11/12、11/18、11/19〔参加人数は通して1名〕）。

諸手続き等の会員サービスについては、12月～3月をCSR 取り組みレポートの集中更新時期に設定し、メンバー会員に周知して対応した。

(2) 協議会の運営

①総会の開催

2014年6月19日に総会を開催した。

②理事会の開催

2014年6月19日に理事会を開催した。

(3) 企画運営委員会の開催

以下のとおり開催した。

第1回企画運営委員会（4/9）

第2回企画運営委員会（6/11）

第3回企画運営委員会（8/7）

第4回企画運営委員会（9/17）

第5回企画運営委員会（12/5）

第6回企画運営委員会（2/18）

以上